

# ROBO NEXT 2026



公式  
Webサイト



2026年

12月2日(水)→4日(金) 10:00-17:00 インテックス大阪

※4日(金)のみ16:00まで

主催



一般社団法人 日本ロボット工業会  
Japan Robot Association



日刊工業新聞社

出展のご案内

# ROBO NEXT

2026

ロボットをもっと身近に、  
そして未来へ。



世界最大級の「国際ロボット展」を主催する日本ロボット工業会と  
日刊工業新聞社が新たなロボットの展示会を開催いたします。

「RoboNext(ロボネクスト)」は、ロボット活用の可能性を広げ、  
多くの方がロボットに触れて、未来に向けてともに歩んでいく展示会です。

また、AIロボティクスなど日々刻々と進化する技術革新のスピードに  
対応するため、最新テクノロジーを発信し、ロボット産業の発展を支えます。  
そして次世代を担う人材とともに未来を創り上げていきます。

本展へのみなさまのご出展を心よりお待ちしております。

 一般社団法人 日本ロボット工業会  
Japan Robot Association

 日刊工業新聞社

RoboNextの“Next”には  
二つの意味があります。

一つは、**NEXT to YOU**を意味し、  
あなたが働く場所・あなたが生活する場所で、  
ロボットが活躍する光景をイメージしています。  
もう一つは、**NEXT GENERATION**を意味し、  
次のロボット産業を担うスタートアップ・  
ベンチャー企業や若手人材が集まる場を  
イメージしています。



- 名 称 RoboNext(ロボネクスト) 2026
- テ マ ロボットをもっと身近に、そして未来へ。
- 開催趣旨 国内外における各種ロボットおよび関連機器・技術を一堂に集めて展示し、様々な業界が抱える直近の課題解決を目指す。また、ロボット未活用領域に向けたソリューション提案を行い、各業界の生産性向上・ウェルビーイングな環境構築に寄与する。
- 会 期 2026年12月2日(水)～4日(金) 10:00～17:00  
※4日(金)のみ16:00まで
- 会 場 インテックス大阪
- 主 催 (一社)日本ロボット工業会、日刊工業新聞社
- 協 力 日本ロボットシステムインテグレータ協会、  
日本物流システム機器協会、日本部品供給装置工業会、  
セーフティグローバル推進機構など  
※申請予定先、法人格略
- 来場者数 40,000名(予定)  
※同時開催展含む
- 出展規模 300社・団体 1,000小間(目標)
- 同時開催 MONO×TECH、高精度・難加工技術展、  
表面改質展  
※AI・ロボット・ウェルビーイングテクノロジーに関する国際フォーラムも予定



# 展示ゾーニングイメージ

ZONING IMAGE

★出展お申し込み内容を勘案し、主催者にて各エリアへの配置を決定いたします。

## Next Technologiesエリア

未来を支えるロボットおよび要素技術・サービスなどを対象としたエリア。



※上記で記載した『未来(あす)』とは、一日先から数十年先まで様々な未来をイメージしています。

## Next to youエリア

各業界のユーザーや団体と連携してテーマを設定し、ロボット活用を身近に感じる企画展示をおこなうエリア。



## Next Generationエリア

スタートアップ・ベンチャー(設立10年以内)、教育機関を対象としたエリア。



## RoboNext Future (仮称)

人とロボットが創り出す未来の可能性を感じ取ってもらうことをコンセプトに、会場全体に一体感を持たせた展示エリア。



## 出展対象

EXHIBITION CATEGORIES

### ●各種製造用ロボット

(機械加工、プレス、溶接、組立、塗装、樹脂成形など)

### ●応用システム

(測定・検査・試験・仕分け・ピッキング、包装など)

### ●搬送・物流ロボット

(AGV、AMR、仕分け・梱包など)

### ●ヒューマノイドロボット・次世代ロボティクス

(AI搭載ロボット、高度自律ロボット、ソフトロボティクスなど)

### ●システムインテグレーター(Sler)

(開発、設計、運用、保守など)

### ●ロボットシミュレーション/ビジョンシステム

(2D/3Dカメラ、画像処理など)

### ●AI・フィジカルAI・ロボットソフトウェア

### ●駆動・センサ・制御系

### ●外装・機構部品

(外装、歯車、ケーブル、治具など)

### ●ロボット関連サービス

(教育、人材、保守など)

### ●その他ロボット関連分野



## 来場プロモーション (予定) VISITOR PROMOTION

紙面報道と連動した継続的な来場プロモーションにより、ユーザー・関係者層の動員を図ります。

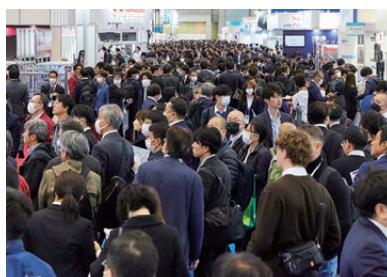
### 国際ロボット展来場者への動員活動

15万人以上の来場者が訪れる世界最大級のロボットトレードショー

**iREX**  
INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION

国際ロボット展は、日本ロボット工業会、日刊工業新聞社が共催する、26回の開催を誇る世界最大級のロボットトレードショーです。2025年は4日間で15万人を超えるユーザー、関係者に来場いただきました。

これらの来場動員・実績を基に、本展でもロボットユーザー、関係者を広く動員します。



### 日刊工業新聞



「日刊工業新聞」で全国全産業のユーザーに対して告知・動員を図ります。社告や広告はもとより、開催前の出展者の紹介、会期に合わせた特集記事などを通じて、エンドユーザーの確実な来場につなげます。

### 交通広告など



西日本鉄道網を活用した車内・駅構内でのPR動画広告や主催者インタビューなどを実施、またWeb・SNS広告なども活用し、幅広い層へ情報発信します。

### Web・デジタルメディア

日刊工業新聞 電子版



「日刊工業新聞電子版」で、展示会やロボットの関連情報を掲載し、来場誘致を行います。

**ニュースイッチ**  
NEWSWITCH



日刊工業新聞のニュースを分かりやすく配信し、幅広い層から支持を得ている「ニュースイッチ」で、本展の最新記事を発信します。

### 海外プロモーション



海外関連団体、大使館の協力によりロボットユーザーを中心に来場を誘致します。海外展示会で本展の周知・来場動員を行います。

※記載以外にも様々なプロモーションを実施予定です。



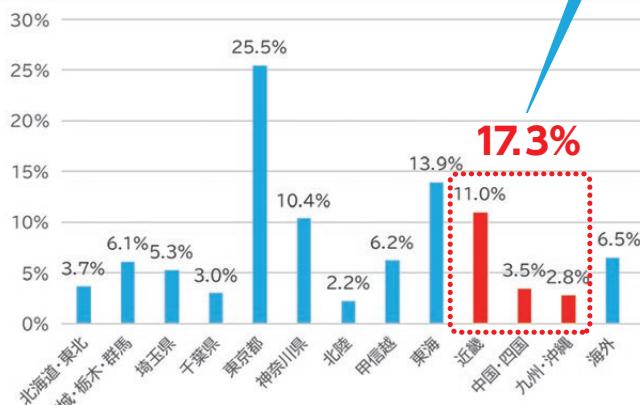
## 西日本エリアのユーザー層にアプローチ

### ロボットおよびロボット関連技術に 関心を持つ潜在来場者が多数!

以下は2023年に開催した国際ロボット展オンライン会場(iREX ONLINE)の閲覧者とリアル会場の来場者の所在地分布です。

東京開催時、西日本からのリアル来場者は約2万人でしたが、オンラインでは約4.6倍の9.3万人が参加しました。西日本におけるロボット展示会への潜在的な需要は極めて高く、大阪での開催により、これらの層の動員が大いに期待されます。

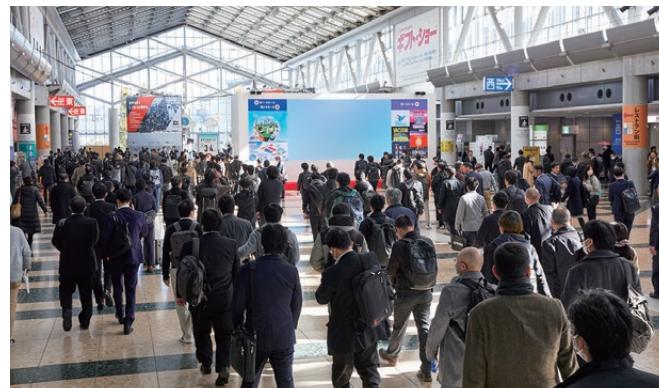
オンライン会場(総閲覧者:540,422人)



西日本エリアで  
約93,000人がロボットの展示会に  
関心をもっています!



リアル会場(総来場者:148,125人)





# 小間タイプ・料金

BOOTH SPECIFICATION / BOOTH RENTAL FEE

## 普通小間:1小間(約9m<sup>2</sup>:間口2.97m×奥行2.97m×高さ2.7m)

### 日本ロボット工業会

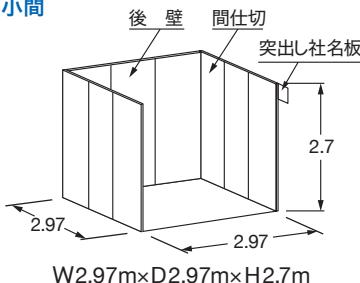
- 正会員 ..... 308,000円(税込)
- 賛助法人会員 ..... 341,000円(税込)

- 協力団体加盟会員/自治体/教育機関 ..... 363,000円(税込)
- 一般 ..... 396,000円(税込)

※スタートアップ・ベンチャーでも普通小間をお選びいただることは可能です。

### 横列小間

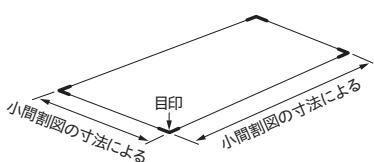
#### 例1小間



- 後壁、間仕切、突出し社名板を設けます。
- 後壁、間仕切はシステムパネル白色仕上げです。

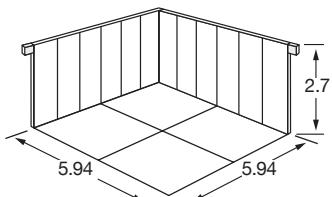
### 島小間

#### ※原則、30小間以上

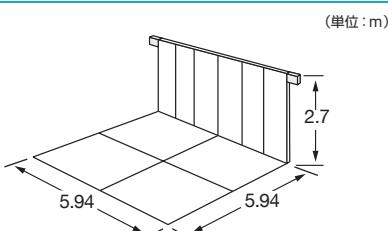


- 区画を床上に印したスペース渡しとなります。
- 突出し社名板は事務局より小間の装飾完成後、見やすい位置に取り付けます。

### 複列小間



【二面通路の場合】



【三面通路の場合】

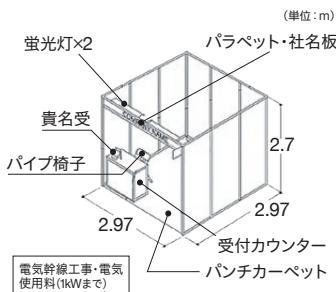
※レイアウトにより通路面の数が変わることがあります。

## パッケージブース 参考:1小間の場合

一括申込することで  
装飾手配の手間を削減!!  
申込方法は出展者説明会で  
ご案内いたします。

### 1小間の出展料金 + 99,000円(税込)

※上記は予定価格です。変動する可能性があります。



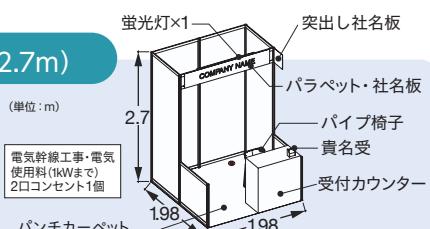
※2小間以上についてもご用意できます。  
※1kWを超える場合は別途電気工事をお申し込みください。  
※基本パッケージは角小間でも社名板は1枚です。

※いずれの小間にも電源・照明・カーペット等はついておりません。※カド小間の場合、通路側の間仕切は設けません。※後壁の取り外しは、隣接小間の有無に関わらず原則としてできません。

## 装飾付きブース:1小間(約4m<sup>2</sup>:間口1.98m×奥行1.98m×高さ2.7m)

- スタートアップ・ベンチャー / 教育機関 ..... 220,000円(税込)

※スタートアップ・ベンチャーは2016年以降に設立された企業が対象です。  
※3小間までお申し込み可能です。(横列のみ)



## 出展者セミナー

EXHIBITOR SEMINAR

### タイムスケジュール

日 時	2日 水	3日 木	4日 金
10:30~11:10	A	G	M
11:30~12:10	B	H	N
12:30~13:10	C	I	O
13:30~14:10	D	J	P
14:30~15:10	E	K	Q
15:30~16:10	F	L	

### 実施イメージ



- 会場内特設ステージ
- 定員:100名

出展効果を高める様々な手法を自由に企画できる場として  
出展者に限り提供します。展示だけでは表現しきれない新製品・技術・サービス、また導入環境や成功事例などの詳細情報  
を説明・発表する場としてご活用ください。申込受付は先着順とし、タイムスケジュールは事務局で調整します。

実施費用 1セッション(40分) 110,000円(税込)

※聴講料は全て無料とさせていただきます。※配布資料等は発表者でご準備ください。



# 出展申込要領

EXHIBITOR APPLICATION GUIDELINES

出展申込書/出展規定は公式サイトよりダウンロードしてください。

公式  
Webサイト



## ►出展申込方法

出展申込書に必要事項をご記入のうえ、事務局へメール添付または郵送でお送りください。  
出展申込書の内容を確認後、受付完了のご連絡をいたします。また、請求書(PDF)をメールでお送りいたします。  
出展内容が本展趣旨にそぐわない場合は受付をお断りすることがあります。あらかじめご了承ください。



の場合 robonext@nikkan.tech



の場合 〒540-0031 大阪市中央区北浜東 2-16

日刊工業新聞社 イベント事業部 「RoboNext2026」事務局

出展  
申込期限

2026年7月3日 金

出展料金  
支払期限

2026年8月31日 月

※上記期限内にお申し込みいただいた場合、招待状に社名・団体名を掲載いたします。期限後でも会場スペースに余裕があればお申し込みを受け付けます。

## ►出展契約の変更または取り消し

既に申し込まれた小間に対する変更もしくは取り消しをする場合は、全て文書にてその理由を明記し、事務局の承認を得てください。出展を取り消された場合、下記の通りキャンセル料金を申し受けます。  
また、出展申込期限後に小間数を減少された場合も、減少分の小間数に対してキャンセル料金を申し受けます。

申込書受理日から  
出展者説明会前日まで

出展料金の 50%

出展者説明会  
当日以降

出展料金の 100%



## 開催までのスケジュール(予定) SCHEDULE LEADING UP TO THE EVENT

2026年7月3日 金	8月上旬(予定)	10月中旬	11月30日月～12月1日火	12月2日水～4日金	12月4日金16時～5日土15時
出展 申込期限	出展者 説明会	諸届け 提出期限	搬入・装飾施工	会期	搬出・撤去



## RoboNext運営・実行組織 MANAGEMENT AND EXECUTION ORGANIZATION

### ►運営委員会

2025年12月時点

委員長 坂東 賢二	川崎重工業株式会社	執行役員 精密機械・ロボットカンパニー ロボットディビジョン長
委員 富士原 寛	一般社団法人日本ロボット工業会	専務理事
委員 林 英雄	株式会社日刊工業新聞社	執行役員 総合事業本部長

### ►実行委員会

委員長 岡久 学	株式会社安川電機	上席執行役員 ロボット事業部長
委員 清水 隆義	IDEC株式会社	国際標準化・協調安全4次元推進部 マネージャー
委員 奥山 浩司	株式会社HCI	代表取締役社長
委員 牧田 幹彦	川崎重工業株式会社	精密機械・ロボットカンパニー ロボットディビジョン グローバル事業推進部 マーケティングコミュニケーション担当部長
委員 拝野 栄二	株式会社ダイヘン	FAロボット事業部 企画部長
委員 井上 龍樹	株式会社デンソーウェーブ	事業戦略企画部 営業企画室 営業企画課 課長
委員 服部 祐人	トヨタ自動車株式会社	未来創生センター R-フロンティア部 ダイナミックロボティクスグループ 主幹
委員 金田 隆文	パナソニック ホールディングス株式会社	先進メカトロニクスシステム開発センター 先進メカトロニクス開発一部 部長
委員 吉永 紀倫	ファナック株式会社	ロボットアプライケーション技術本部 マーケティング部 部長
委員 覚田 善徳	株式会社不二越	ロボット事業部 ロボット企画部 部長
委員 竹野 亮	株式会社安川電機	ロボット事業部 事業企画部 事業企画課 課長
委員 清水 信好	一般社団法人日本ロボット工業会	業務部長
委員 松井 里奈	株式会社日刊工業新聞社	総合事業本部 第一イベント事業部 部長

## ►出展申し込み・お問い合わせ先

「RoboNext2026」事務局(日刊工業新聞社 イベント事業部内)

〒540-0031 大阪市中央区北浜東2-16

●TEL:06-6946-3384 ●E-mail:robonext@nikkan.tech ●Webサイト:<https://robonext.nikkan.co.jp/>

公式  
Webサイト  
はこちら

